

# 立憲ねりまレポート

## 白石けい子



練馬区貫井育ち、高松在住。昭和29年生。  
練馬区立練馬二小・貫井中・都立第四商業高等学校・東京都練馬高等保育学院卒。保育士・社会福祉主事。NPO法人 ケアステーションぽかぽか設立 現理事長。「保育&介護」施設を高松に開設して25年目。  
平成19年初当選。現在、3期目。所属委員会 企画総務常任委員会、総合・医療等特別委員会、美術館運営協議会。消防団運営委員会。  
家族 夫・子ども7人(義理含) 孫 6人 猫 1匹

自身の体験を様々な角度から質問・提案をする！

1年3カ月ぶりの一般質問。自身のがん罹患の体験や保育・介護の現場の声を区長に、質問・疑問・提案として投げ、前向きな答弁を得ることができた。

▼**がん**に罹患しても、**その人らしく**▲

【問】がんの受診率のアップは、早期発見の利益もあるが、バリウムの誤嚥や台からの転倒。進行がんで無いのに無意味な治療をしてしまうなどの不利益もあることの説明も重要。

【答】様々な機会を捉えて周知していく。

【問】がんに罹患しても、治療しながら働ける時代。周囲の理解と仕事の両立への支援に向け、事業者や企業への働きかけは。

【答】区内産業団体に、案内・情報提供をしていく。また、区のHPにがんポータルサイトに関連した情報をまとめて掲載していく。

【問】これからの義務教育にも、がんの正しい知識と予防の教育が重要になる。

【答】児童・生徒の発達段階に応じて指導をしていく。

▼**秋の幼保無償化**への**対象者範囲**は？▲

【問】消費税の増税に伴い、スタートするが、練馬区には、対象となる大小様々な幼稚園・保育所・認可外保育施設が多い。無償化の対象をどこまでとするのか。利用格差が生じないように、努めるべきである。

### 一般質問・予算委員会にて区長に訊く！



【答】製品の保管方法を考慮し、備蓄又は災害協定で供給を検討する。

▼**災害時、外国人避難者対策と防災士等の人材活用**▲

【問】区内には、外国人居住者が約2万人いる。言語・文化の壁から避難拠点での不安とならない対策を。また、防災士等の人材登録への呼び掛けを行い、災害時の担い手として活躍してもらえよう図りたい。

【答】言語アプリ等を活用し、受け入れ訓練を行なっていく。多くの資格者の登録者数の増に努める。

▼**認知症対策とあんなしの支援策**▲

【問】認知症になる要因は、6種類以上の多剤薬の服用や軽度聴覚が関係している。過度な処方への啓発や豊島区のような補聴器の補助は。

【答】お薬手帳・医師会・薬剤師会と連携し、薬剤の適正使用に努める。補聴器の補助は考えていない。

【問】認知症患者の家族のためにも「認知症賠償責任保険」の加入は重要。葛飾

区・中野区のように保険の加入助成を行うべき。

【答】GPSを利用した位置情報サービスで、30分以内に駆けつけるようにしている。保険は考えていない。

【問】公共施設の地域包括支援センターの移転には、地域住民に丁寧な説明と、第8期高齢者・介護保険計画に向けては、事業者の声を聴くこと。

【答】丁寧な説明を心掛けていく。第7期計画の検証を含め進めていく。

▼**子どもの人権と権利は？自己肯定感と主体性を第一とした環境**▲

【問】母子手帳にも掲載している「児童憲章」の理念を今一度、確認し、子ども自身が主体性と自己肯定感が得られるような環境の提供を。

【答】「練馬子ども子育て支援事業計画」を策定。実施と事業を通じて子どもの権利擁護を図っていく。保護者や大人には、周知徹底をしていく。

練馬区主催の「世界都市農業サミット」開催に向け、ソーラーシェアリングの研究と世界へのアピールを！

地産・地消として太陽光発電と作物の耕作が可能なソーラーシェアリングが注目されている。作物は、必要な一定量の光があれば育ち、かえって強すぎる太陽光では成長を妨げるため、猛暑が続く、近年の状況としては、一石二鳥の産業といえます。仕組みは、農地の上に太陽光パネルを設置し、これまでと同様に耕作も可能となります。



確かに、近隣への反射光や耕作物の種類等の課題はありますが、再生可能な自然エネルギーは、世界が注目しているだけに、ぜひ、区が率先し、みどりの保全とエネルギーの研究を世界に配信してほしいと要望をした。

昨年の自然災害による賠償金が、総額千五百万円を超えた！

昨年、区が支払った賠償額が総額約千五百万円となった。倒木数も一八三本とのこと。みどりの保全等に年間約二十四億万円余の経費が必要。みどり保全と自然災害へ

の対策は、区民の命を守るためにも重要な課題となっていく。

## 今年度の活動報告



### 子育て支援

- ・待機児童の解消
- ・保育の質の向上と無償化
- ・幼稚園の延長保育や幼保連携の拡大等

## 立憲政策パートナーズ集会



## — がんと地域医療のシンポジウム —



— 女性消防団D級ポンプ操法お披露目 —



— 街頭にて区政報告を —

多言語配信ツールを活用して、「ねりま区報」が変わります

外国人に向けた区政情報は、年4回の紙媒体の発行でしたが、タイムリーに発信することを目的に、自動翻訳されたカテゴリーポケットを導入し、練馬区報をパソコンやスマートフォンで閲覧できるようになります。

言語の種類は、英語・中国語・韓国語・ベトナム語・タイ語・ポルトガル語・スペイン語・インドネシア語の8カ国語です。

- 主な機能として、
- ①日本語の紙面を自動翻訳機能
  - ②記事をタップして大きくできるポップアップ機能
  - ③音声で読み上げる機能
  - ④パソコン上で、ページをめくめる感覚で紙面の閲覧ができる電子ブック機能

## 白石けい子 考察

早いもので、練馬区議会議員になって3期12年となった。民主党時代から、現在は、立憲民主党に所属をし、東京都連の政策委員として、「ボトムアップな政治」を目指し、パートナーズの皆さんと各地方議員とのタウン集会から施策を議論し『あなたとつくる』東京政策2019』が完成した(立憲民主党都連HPにて公開中)

4月14日からは、練馬区第19期練馬区議会議員選挙が行われる。4月に補欠選挙で当選した議員も共に再選挙となり、50議席が有権者の一票によって選ばれることになる。

「あれも、これも。」の時代は終わり、今後76万人と人口規模が予測される練馬区の今後を決める選挙である。多くの方の関心と参加をしていただきたいと願っている。

## 区政報告会 開催のご案内

今年6月より導入開始となります。他区の動向を見て、練馬区も導入の決定をしたとのこと。QRコードから気軽に情報を得ることができ、子どもから大人まで語学の勉強のツールとして活用してみたいかがですか。

平成31年度予算の内容や秋の幼児教育・保育無償化など、練馬区政が進めていく施策について考えていきます。

日時 4月7日(日)

10時30分～11時30分

場所 練馬区役所本庁舎

20階 交流会場

参加費 無料(当日受付)

※どなたでも参加できます

お気軽にご参加ください。